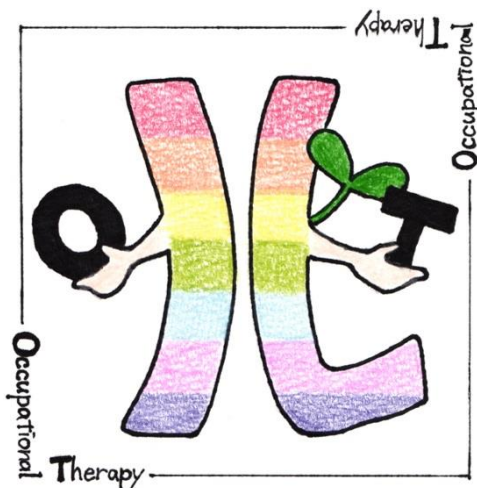


人は作業で生かされている

令和3年5月8日 山形ビッグウイングにて開催予定



ロゴマーク決定!

ロゴマークへの思い

どしゃぶりの雨が降っても、やがて陽が差し込み、その時に見えるのが虹です。また、雨水により豊かな土壌となり草花の芽が出てきて希望へと繋げてくれます。

人生の中で、罹患などの障壁により身動きがとれず心が折れそうになった時でも、人は日々の生活の中で紡いでいく何らかの作業(活動)により生かされているのだと思います。作業は希望への架け橋であり、虹のようなものです。

その思いを、作業の「作」という虹色の象形文字に込めるというアイデアを、実行委員の土屋公実子さん(吉岡病院)が描いてくれました。そしてそのアイデアをもとに、花野優里さん(山形済生病院)がアレンジして下さりようやく完成いたしました。

世の中は今、COVID-19感染症というどしゃぶりの雨に巻き込まれております。やがて陽がさし、虹が希望の架け橋になってくれることを祈っております。

第28回山形県作業療法学会 学会長 佐藤さとみ

ただいま演題募集中!

山形県作業療法士会HPより応募できます